

ネイティブ豚グルタミン酸-オキサロ酢酸トランスアミナーゼ

Cat. No. NATE-0312

Lot. No. (See product label)

はじめに

説明

アスパラギン酸トランスアミナーゼ (AST) またはアスパラギン酸アミノトランスフェラーゼ、別名AspAT/ASAT/AATまたは血清グルタミン酸オキサロ酢酸トランスアミナーゼ (SGOT) は、ピリドキサルリン酸 (PLP) 依存性のトランスアミナーゼ酵素 (EC 2.6.1.1) です。ASTはアスパラギン酸とグルタミン酸の間で α -アミノ基の可逆的な移動を触媒し、そのためアミノ酸代謝において重要な酵素です。ASTは肝臓、心臓、骨格筋、腎臓、脳、赤血球に存在します。血清ASTレベル、血清ALT (アラニンアミノトランスフェラーゼ) レベル、およびその比率 (AST/ALT比) は、肝臓の健康のバイオマーカーとして臨床的に一般的に測定されます。これらの項目は血液パネルの一部です。

別名

EC 2.6.1.1; グルタミン酸-オキサロ酢酸トランスアミナーゼ; グルタミン酸-アスパラギン酸トランスアミナーゼ; トランスアミナーゼ A; AAT; AspT; 2-オキソグルタル酸-グルタミン酸アミノトランスフェラーゼ; アスパラギン酸 α -ケトグルタル酸トランスアミナーゼ; アスパラギン酸アミノトランスフェラーゼ; アスパラギン酸-2-オキソグルタル酸トランスアミナーゼ; アスパラギン酸アミノトランスフェラーゼ; アスパラギン酸アミノトランスフェラーゼ; アスパラギン酸アミノトランスフェラーゼ; AST; グルタミン酸-オキサロ酢酸アミノトランスフェラーゼ; グルタミン酸-オキサレートトランスアミナーゼ; グルタミン酸-アスパラギン酸アミノトランスフェラーゼ; グルタミン酸-オキサロ酢酸トランスアミナーゼ; グルタミン酸オキサリックトランスアミナーゼ; GOT (酵素); L-アスパラギン酸トランスアミナーゼ; L-アスパラギン酸- α -ケトグルタル酸トランスアミナーゼ; L-アスパラギン酸-2-ケトグルタル酸アミノトランスフェラーゼ; L-アスパラギン酸-2-オキソグルタル酸アミノトランスフェラーゼ; L-アスパラギン酸-2-オキソグルタル酸トランスアミナーゼ; L-アスパラギン酸アミノトランスフェラーゼ; オキサロ酢酸-アスパラギン酸アミノトランスフェラーゼ; オキサロ酢酸トランスフェラーゼ; アスパラギン酸:2-オキソグルタル酸アミノトランスフェラーゼ; グルタミン酸オキサロ酢酸トランスアミナーゼ; 9000-97-9

製品情報

種	豚の
由来	豚の心臓
形態	硫酸アンモニウム懸濁液; 0.05 M マレートおよび 2.5 mM α -ケトグルタル酸を含む 3.0 M (NH ₄) ₂ SO ₄ の懸濁液、pH 6.0
EC番号	EC 2.6.1.1
CAS登録番号	9000-97-9
活性	200-500 ユニット/mg タンパク質
単位定義	1ユニットは、L-アスパラギン酸の存在下で、pH 7.5、37°Cで1分あたり1.0 μ moleの α -ケトグルタル酸をL-グルタミン酸に交換します。

保管・発送情報

保存方法	2-8°C
------	-------